

両親の不仲
虐待の経験から
親になることに戸惑う夫婦
出産予定日に我が子を失った夫婦
子どもを望んだものの
授からない人生を受け入れた夫婦
完治しない障害を持つ子を育てる夫婦
全てが「うまれる」
ストーリーです



感動のドキュメントへ贈る
すべての人のために

開催日時:
2015年5月30日(土)14:00~16:30

開催場所:
リリオコンサートホール

参加対象:
小学4年~6年生、中学生の
お子様をお持ちのご家庭
必ず親子でご参加ください。

応募方法:
下記のアドレスに
①ご住所 ②電話番号
③参加される親の名前
④参加されるお子様の名前(学年)
を明記してメールして下さい。
Mail:umareru-chiryu-jc@chiryu-jc.org

小学3年生以下のお子様は入場することが
できませんので、予めご了承ください。
当選は厳正なる抽選のうえ、書面にて
発送させていただきます。
募集日:2015年4月27日(月)
~5月27日(水)まで

“僕はただ、両親と仲直りがしくて、
この映画を作ったのかもしれない”

自分は愛されているのだろうか... 自分は本当にこの両親のこどもなんだ
らうか... 物心ついた時から、僕はそう思っていました。4歳年下の弟が
右目が半分開かない状態で生まれてきたときから、両親は弟のことで精
一杯。僕は「親の愛情」というものを、知らずに育った気がしていました。
自分はなぜうまれてきたのか、何のために生きているのか... 自分の存
在価値がよくわからなくなり、結婚や子どもを持つことに、全く夢を描けま
せませんでした。

そんなある日、講演会で「赤ちゃんは雲の上で親を選んで生まれてくる」
という体内記憶の話の話を聞きました。
自分は好きでうまれてきたんじゃないし、子どもは親を選べないとずっと
思っていた僕は、非科学的でファンタジーな話とは思いつつ、心から感動
したのでした。

自分が選んだのかも、と考えると、いまの親子関係は自分にも責任があ
るのでは、自分も本当は愛されていたのでは... 長らく抱いていた否定的
な感情が少しずつ消えていくのを感じました。
「うまれる」ことを映画にしたい! 命の原点に向き合うことで、僕自身、
両親との関係を築き直せるかもしれない.....

それから3年あまり。何十組ものご家族、ご夫婦を取材・撮影させてい
たきましたが、「うまれる」ことを知れば知るほど、その奥深さと神秘的に僕
は圧倒されました。
生まれてくること、そして生きることは、まさに奇跡の連続。頭では分かっ
ている命の尊さ、感じる機会ってどのくらいあるのでしょうか?
全身の細胞全部で、映画のメッセージを受け止めていただけたら幸いです
す

企画・監督・撮影 豪田トモ

うまれる

ナレーション: つるの剛士
企画・監督・撮影: 豪田トモ
主題歌: 「オメデトウ feat. KOHEI JAPAN」 つるの剛士
<http://www.umareru.jp/umareru/>



一般社団法人 知立青年会議所 〒472-0046 知立市弘法町弘法山19
TEL: 0566-81-0900 URL: <http://www.chiryu-jc.org>
[平日9:00~11:00 土日休み] Mail: umareru-chiryu-jc@chiryu-jc.org
担当: 青少年育成委員会 委員長 渡辺千真 後援: 知立市教育委員会

